

定例教育委員会会議録

(令和3年5月7日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和3年5月7日（金）
9時30分～

場 所 市役所2階 202会議室

署名委員 草間教育長職務代理、小平委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 新型コロナウイルス感染症の対応について【資料 No.1】 (教育総務課)
2. 学校評議員の承認について【資料 No.2】（非公開） (教育総務課)
3. 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について【資料 No.3】（非公開） (教育総務課)
4. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会
の委員の承認について【資料 No.4】（非公開） (教育総務課)
5. 社会教育委員の委嘱について【資料 No.5】（非公開） (生涯学習課)

○ 報 告

1. 岡谷市子ども教育支援チームについて【資料 No.6】 (教育総務課)
2. 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について【別添資料】 (各課)

○ そ の 他

- ・行事等について（各課）
- ・その他

【次回開催予定】 6月7日（月） 定例教育委員会 9時30分～ 2階 202会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

事務局（説明員）

教育部長 白上 淳、教育総務課長 両角 秀孝、教育総務課主任指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 伊藤 恵、スポーツ振興課長 小松 隆広、教育総務課教育企画主幹 伊藤 清和、
教育総務課学校教育主幹 横内 哲郎、教育総務課主査 新村 尚志

<会議録>

○開 会

岩本教育長：

それでは、ただ今より、定例教育委員会をはじめます。
本日の署名委員は草間職務代理者と小平委員にお願いしたいと思います。

○教育長報告

岩本教育長：

まちの木々が新緑に色づき、爽やかな季節となりました。
普段であれば行楽などに出かける楽しいゴールデンウィークも今年は、家で過ごす時間を多くして、ステイホームでそれぞれに楽しみを見つける連休ではなかったかと思います。始めに、教育総務課からになります。

●諏訪地域における新型コロナウイルス感染症の状況について

この後の議題でも扱いますが、先月は諏訪地域で感染が急速に拡がり、県の感染警戒レベルが5となり、市内の感染拡大が心配されましたが、市内の感染例だけを見ますと、何とか持ちこたえながらゴールデンウィークが終わりました。

昨日5月6日から諏訪地域の警戒レベルが4に引き下げとなりましたが、会食など、少しの気の緩みが大きな感染の拡がりになってしまう今回のケースを我々は教訓として活かしていく必要があります。

更に、諏訪地域の感染者の内訳を見ますと、4月11日以降で小中学生の感染例が17件、高校生から未就園児まで加えると30件の感染が確認されております。

この子どもたちの感染に大きく影響しているのが、東京や大阪でも拡がりを見せている変異株といわれております。

県や報道などによりますと、イギリス由来の変異株N501Yは、従来のものより感染力が強く、若い年代であっても重症化する事例もあり、感染後の後遺症についても心配があります。

目に見えないウイルスからの感染をどうやって防ぐか、非常に難しい課題ではありますが、決して気を緩めることなく、今できることをしっかりと行い、学校の子ども達が「感染しない」、「感染させない」、「感染を拡げない」努力をこれからも続けていきたいと思っております。

●令和3年成人式代替事業の報告について

つづきまして、生涯学習課からになります。

生涯学習課からは、令和3年成人式代替事業「ふるさと岡谷発おめでとう新成人の皆さんへ」について、報告させていただきます。

生涯学習課では、5月2日（日）に「ふるさと岡谷発おめでとう新成人の皆さんへ」を開催いたしました。

岩本教育長：

当事業の開催にあたり、教育委員の皆さん方にもご出席いただき、高木委員さん、小平委員さんにおかれましては、心温まるメッセージを添えながら、「はじめのことば」「おわりのことば」を述べていただきました。新成人の門出にふさわしい大変晴れやかな内容であったように思います。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として行いました当事業につきましては、カノラホールにおいて、観客を入れず、オンライン配信により開催するという、今までにない形での実施となりましたが、皆様のご協力により滞りなく無事終了することができました。厚く御礼申し上げます。

当日の様子を記した新聞記事を添付してございますので、またご覧いただければと思います。

なお、当日の視聴者数等の報告については、後ほど生涯学習課長から報告させていただきます。

●「第30回長野県市町村対抗駅伝競走大会」及び

「第16回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会」について

スポーツ振興課からは4月24日に行われました「ともにのり超えようともに走ろう！ コロナの先の新しい未来に向かって」をキャッチフレーズにした「第30回長野県市町村対抗駅伝競走大会 並びに第16回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会」について報告させていただきます。

本大会は、松本平広域公園陸上競技場周辺コースを一般の部9名、小学生の部4名で襷をつなぐ駅伝大会であります。

昨年は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により大会は中止でありましたが、今年は春の暖かな日差しが降り注ぐ中、感染症予防対策を徹底し、2年ぶりに開催されました。

毎年、本大会の出場に向け、岡谷市陸上競技協会を中心に選手の選考会を行い、オール岡谷として、選手、ご家族、役員等が一丸となって入賞を目指し、練習会を積み重ねてきております。

コロナ禍が続くなかで、十分な練習に打ち込むことができない選手も多くいる状況でありましたが、一人ひとりが最高の走りを見せていただき、一般の部では36チーム中19位、小学生の部では43チーム中9位と健闘いたしました。

今般、スポーツ分野をはじめ、様々な活動が制限されておりますが、選手一人一人が目標に向かって、今できることを全力で取り組んでいただいた姿を拝見し、私たちに勇気と希望を与えていただいたことに心より感謝を申し上げるところであります。

まさしく、はつらつ岡谷スポーツプランの「する」「みる」「ささえる」スポーツを実践いただいたことを大変うれしく思います。

来年も選手にとって素晴らしい大会となるよう期待しているところであります。

岩本教育長： ただいまの報告について、ご質問等がありますでしょうか。

それでは、本日の議題に入ります。

議題の1としまして、「新型コロナウイルス感染症の対応について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○議 題

1. 新型コロナウイルス感染症の対応について（教育総務課）

＜資料1に基づき、事務局より説明＞

岩本教育長： ただ今の説明について、何か質問や意見がありましたらお願いします。

草間職務代理者： 今、変異株というものに切り替わってきていますが、従来の対応のままでは子どもたちを感染から守れるかどうか。岐阜県の小学校でクラスターが発生したというニュースを聞きました。現在、タブレット端末を1人1台学校で配備しているのですが、もし学級閉鎖になった場合に家庭にタブレット端末を持ち帰って、勉強ができる体制になっているのか、また家庭においてそのような環境整備が出来ている状況なのかをお聞きしたい。

事務局（両角） 最初にお話のあった従来のウイルスと変異株のウイルスについては、現在、県の保健所を中心に圏域での対応になり、確認しながら、封じ込め、その後、医療機関で治療していくという点は変わらないと思いますので、こちらは医療にゆだねるしかないと思います。

それから、もし今後感染が広がった場合の学びの継続性については、すでに大阪市等では遠隔で工夫しながら、休校、学級閉鎖の対応を実践しているところですので、それらの事例を参考にしながら対応をしてみたいです。市内の小中学校についても、生徒児童1人1台端末を貸与できる状況であり、昨年度中に貸与の規定を設けており、貸し出しという対応は想定をしております。

ただし、家庭の通信環境という点は課題になるかと思っておりますので、状況を把握しながら、通信環境のない家庭については、ポケットWi-Fiを調達していますので、それらを併せて貸し出してまいります。

学校で授業ができないような状況ということになりましたら、そのような対応をしてみたいです。

草間職務代理者： タブレット端末の整備が問題ないとして、先生方が子どもたちに対して、タブレット端末を使いながら、オンラインで授業できるかどうかところは大丈夫ですか。

事務局（両角） 実は昨年度、ある中学校で実証的にオンライン授業に取り組んだ学校があります。1人1台端末の調達以前に、各学校には1クラス分のタブレット端末が既に導入されており、これまでもタブレット端末を授業で、

事務局（両角） 使っておりました。また、タブレット端末を活用した授業というのは、その端末を使って、何か特別な操作を行うというのではなく、双方向で画面が繋がっているオンライン会議のようなものでして、子どもの顔が見えて、子ども達からは先生の顔が見えるという環境が設定できるかどうかが一番になります。

それさえ出来れば、遠隔による授業というのは、さほど難しい技術が必要ということではなく、先生が黒板に向かって、授業を進め、その映像を子どもたちが自宅において、タブレット端末の画面から見るというものになるかと思います。

岩本教育長： 他にはよろしいでしょうか。いずれにしても、気を引き締めて、引き続き、やっていくしかないと思います。

休校になった場合の対応について、ご質問いただきました。せっかくタブレット端末を配備しましたので、積極的に活用していきたいと思います。

つい最近、諏訪圏域でも休校対応した学校がありましたが、長くて2日、大体1日ぐらいの休校だったと思います。

大阪市のように長期的になれば、当然、家庭での学習保障を考えなければいけないと思いますが、万が一、子ども達の中に感染者が出た場合にもそれほど長い期間、休校を取らなくて良いのではと考えています

ただし、変異株については、どの程度影響があるか、まだはっきりしておりませんので、その状況によっては長期的な休校という対応をとらざるを得ないケースも想定されますので、準備だけはしっかりしていきたいと思います。コロナの件については、折々ご報告をさせていただきます。

本日の公開議題は以上となりますので、続いて、報告事項に入りたいと思います。

○報 告

1. 岡谷市子ども教育支援チームについて（教育総務課）

＜資料6に基づき、事務局より令和3年度の岡谷市子ども教育支援チームのチーム員を説明＞

岩本教育長： 何か、ご質問等ございますか。

教育委員の皆様もご承知のとおり、岡谷市は十数年前に不登校の割合が一番多いということがありました。それに何とか対応するということでチームを設立し、教育長を中心に、総力をあげて、長期欠席といじめという大きな課題に対して、みんなで知恵を出し合って、取り組んでいくことになりました。今日の午後、第1回目の会議が開催されます。主には校長先生が中心となっております。

それでは、報告事項の2に進みたいと思います。事務局より説明をお願いします。

2. 岡谷市議会 3 月定例会一般質問要旨について（各課）

＜事務局より岡谷市議会 3 月定例会一般質問要旨について説明。＞

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたら
願います。
よろしいでしょうか。それでは、その他に入りたいと思います。事務局
から願います。

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

・その他（令和 3 年成人式代替事業について）

事務局（伊藤）： 先ほど岩本教育長からお話がありましたが、成人式の代替事業につい
て、教育委員の皆様にもご出席いただき、無事に終わることができました。
本当にありがとうございました。

新聞報道でもありましたが、諏訪地域の各市町村がどのような成人式を
行ったのか、この場を借りてご紹介したのち、岡谷市の状況を報告します。

下諏訪町は小中学校の恩師からメッセージや思い出の写真をまとめた
DVDを作成して配布すると聞いております。

諏訪市は同じ 5 月 2 日に諏訪市文化センターに記念撮影用のパネルを
設置し、このパネルは諏訪清陵高校と諏訪二葉高校の書道部に書いてもら
ったということでした。また、市の公式 YouTube チャンネルで祝辞を流
した後、後日新成人の代表の方のあいさつを配信する予定となっております。

茅野市は中学校時代の先生からお祝いメッセージの配信をし、お祝いの
品として、図書カードの贈呈を検討しているとのこと。

富士見町は、7 月 24 日土曜日に、オンライン形式の成人式を開催し、
インターネット会議システムを利用して、第一部で式典、第二部で中学の
学級ごとのオンライン交流会を行うとのこと。

原村は 5 月 2 日の開催予定でしたが、再延期ということで、2021 年度
の成人式を開催し、午前、午後に分けて、2020 年度、2021 年度の成人式
を同日に開催する予定であるというお話を聞いております。

岡谷市では成人式代替事業として行いましたが、はじめに記念品につい
てお知らせしたいと思います。

当初、記念品は申込者のみに配布予定としておりましたが、市が成人の
皆様に寄り添っているという姿勢を表したいということで、新成人全員に
お送りすることになりました。

記念品の内容はエコバックに市内障がい福祉サービス事務所が作って
いるお菓子「桑の葉クッキー」と紅茶 T パックセットのほか、岡谷市

事務局（伊藤）： インスタグラムフォトコンテストの入賞作品をプリントしたポストカードを2枚、就職活動向けに市内事業所のPRチラシ、そして今井市長からのメッセージを添えたものを5月中に梱包作業を行い、6月初旬に発送する予定で考えています。

コロナ禍において、地元が新成人を応援してくれているということを感じていただき、市に愛着を持っていたいただければと思っています。

また、障がい福祉サービス事業者に梱包等の作業をお願いすることにより、消費需要の喚起や事業所の運営支援にもつながるものと考えております。予算については、国の交付金を活用し、4月16日に専決処分を行っております。ライブ配信の費用もそちらを活用させていただきました。

反響ですが、YouTubeでライブ配信をさせていただきして、視聴回数が画面に出てくるのですが、当日は瞬間の最高視聴者数は114人くらいでしたが、ここにはシルキーチャンネルで見ている方は含まれていませんので、私としては、皆さんに見ていただき、全部で500人以上の方に見ていただけたのではないかとこの気持ちであります。

シルキーチャンネルは、視聴率を把握できないところがありますが、YouTubeについては、現在も配信されており、5月5日の時点で463回、さらに今朝確認したところ、500回を超えておりましたので、新成人の方やその保護者の方、またどのようなことをやったのだろうという関心を持つ行政関係者の方が見ておりますので、まだ少しずつ増えていくように思います。

また、記念撮影ができるフォトスポットですが、5月2日当日はカノラホールに設置し、撮影された方が36名、その後、カルチャーセンターの3階の催事場にスポットを移動させましたが、5月3日にお越しいただいた方が14名、5月4日にお越しいただいた方が2名でした。5月5日にはお越しいただいた方はおりませんでしたが、全部で合計すると52名の方にフォトスポットを利用させていただきました。

いただいたご意見や新聞の報道を見ると成人式ではなかったのも、友達に会えないということもあって、それは少し寂しかった。また、式典中止は仕方がない、これはこれで記念になって満足しているという意見がございました。

良かったというご意見を何人かの方からいただき、ほっとしているところでもあります。ライブ配信は初めての取組でしたが、恩師からのメッセージもあり、多くの方々に視聴いただけたと思います。コロナ禍において、人が集まらない状況下において、一方的な発信になってしまったのですが、20歳という人生の節目として、岡谷市が新成人の方に対して、門出をお祝いするという目的は達成できたのではないかと考えております。

来年1月に予定されている成人式は、コロナの状況がどのようなになっているかわかりませんが、このような取り組みを行ったことで、もしという場合には今回の経験が活かされるのではないかと考えています。

事務局（伊藤）： 教育委員の皆さんから感想等をお聞かせいただき、次につなげていきたいと思っております。私からは以上となります。

岩本教育長： それでは、後ほど教育委員の皆様から感想をいただきたいと思います。教育総務課から何かありますか。

事務局（両角）： 一つ目が行事予定の4ページになりますが、例年、この時期に開催しております諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会の総会にご案内の通り、今年度は開催中止となりました。

それから二つ目がふれあいたいむ春季推進旬間について、本日机上配布にて、計画（案）をお配りしております。

期間は5月19日から28日まで10日間のうち、各小学校にそれぞれ激励の訪問をしていただきます。例年行っておりますが、本年度はこのような割り当てで計画をさせていただきました。スケジュールを確認していただき、調整が必要であれば、対応させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

岩本教育長： 各課からご報告いただきましたが、ご質問等はございますか。

太田教育委員： スポーツ教室や生涯学習関係の講座など、感染状況が変化する中で本当にいろんな形で実施していただけることについて、本当にありがたいことだと思います。

この時期に募集をするような教室等について、市民の皆さんの応募の状況に何か変化はありますか。以前と変わらず、それぞれ応募があるのか、或いはここに来て、急激に少なくなっているような状況なのか、お伺いしたいと思います。

事務局（小松）： スポーツ教室の応募状況はさほど変わらないと思います。

ただし、教室を開催するにあたって、スポーツ協会から感染警戒レベル5になった時点で教室の開催は見送りたいという意向がありまして、第1回目を中止にした経過があります。

すべての教室について、第1回目はとりあえず中止ではなく、延期にしようという話が出ておりますが、現在、感染警戒レベルが4に下がっており、レベル5の段階の対応として、各教室の第1回目は延期するという対応をさせていただきました。

事務局（伊藤）： カルチャーセンターはいちい学級や子育て支援学級が来週から申し込みが始まりますが、両講座とも楽しみにしている方が多く、問い合わせもいただいております。

感染対策をする中での開催を目指してはおりますが、こんな状況になりますので、市民の皆さんにご理解をいただきながら、感染状況によっては中止等もありえるということをお伝えしながら、開催準備を進めております。

- 藤森教育委員： 行事予定でわからなかったので、教えていただきたい。
美術考古館の予定で、１８日と２７日にワールド航空サービスとありますがこれはどのような内容のものか。
- 事務局（伊藤）： 事業が中止ということで、詳細の内容を把握しておらず、申し訳ございません。旅行業者によるツアー見学だと思いましたが、確認した後ほど、回答させていただきます。
- 事務局（白上）： ただいま、担当に確認しておりますので、しばらくお待ちください。
- 岩本教育長： それでは、お待ちいただいている間、成人式の代替事業について、教育委員の皆様から感想をいただきたいと思います。
高木委員さん、どうですか。
- 高木教育委員： 成人式の代替事業が無事に出来まして、本当に良かったと思います。成人の皆さんの発表もとても素晴らしくて、成人の皆さんだけでなく、大人の皆さんに聞いていただいて、大人が温かくこの新成人たちを今後も見守っていかねばいけないと感じました。カノラホールに人がいない中で、の式というのは会場の中は少し寂しい感じもありましたが、皆さんが家にいながらにして、見てくださり、このように繋がる方法もあるということがわかって、新たな展開に繋がってよかったと思います。ありがとうございました。
- 岩本教育長： 新成人の皆さんのあいさつはホームページにも掲載して、市民の皆様にも読んでもらいたいと考えています。小平委員さんはどうですか。
- 小平教育委員： 新成人の方と準備する大人世代では意識の差があり、若い子たちにはつまらないのではないかという気持ちが最初どこかにありましたが、当日の様子を拝見し、参加していた新成人の方々どなたも立派な考えをもっており、登壇しない成人の方たちも、壇上の下から写真を撮っている様子などを拝見して、やはりこういった機会を用意することが大切であると改めて感じました。式の映像も面白い演出がなされており、中学の先生方からのメッセージもあり、準備する側も試行錯誤されたと思いますが、とても心温まる式だったと思います。
また、全員に記念品を発送するというので、今回はこれで新成人の皆さんが節目を感じられたと思うので、すごく良いと思いました。
今回、たまたまお話した新成人の方と話す機会がありました。この事業を知らない子もいて、YouTubeの配信が一か月ということで、もう少し期間を延ばしてもらえれば、記念品がその知らない子たちの手元に届けば、その時に映像を見てくれる方もいるのではないかというお話をいただきました。記念品を贈る際に、中学校の先生からコメントをいただいております。動画はここから見れますという記事を一緒にお伝えすれば、知らなかった人の中には、動画を見る方もいると思いますので、可能であれば動画配信の期間を延長していただきたいと思います。とても良い式でした。

事務局（新村）： 先ほど、藤森委員からご質問ありましたワールド航空サービスですが、担当課に確認したところ、27日予定のツアー見学も残念ながら中止となったそうです。

ワールド航空サービスは会社名でして、美術考古館や遺跡を巡って、ガイドに解説をしてもらうという内容のツアー見学を実施している会社になります。

太田教育委員： 本当に緊急の対応お疲れ様でした。私も主催する側としての目的である、地元で育ち、或いは地元で暮らす新成人の皆様に対して、自治体として、地域として、成人としての節目に対して、祝意を伝えるということが最大の目的であったということを再確認させていただきました。

主催する側の目的はこういう形であっても十分に果たせるということを変更して確認することができ、そういう意味では非常によかったと思いました。

対して、参加する新成人の立場としては仲間たちと久しぶりに再会したい、或いは久しぶりにふるさとに帰ってきたいという目的が一番大きいのだろーと思しますので、その部分に関しては、こういう形ではなかなか達成することが出来ないというのは仕方ないことだと思います。

そういう意味では、成人式そのものをなぜやるのかというところについては、その目的というのがはっきりしましたので、これも今後の一つのあり方であると感じました。

藤森教育委員： 今回「コロナ禍」という言葉が何回も出てきており、個人的には、好きな言葉ではありません。好きな人もいないと思いますが。「コロナ禍」という言葉がどこか嫌いで「災い」ですね。確かに、いろいろな場面で災いや影響が出ているわけですが、一方で「災い転じて福となす」という言葉がある通り、こういう状況の中で今まで当たり前に、普通にやってきたことに対して、新しい価値観ややり方で考えること、太田教育委員がおっしゃったとおり、本来の目的が何かということを改めて考えさせていただいたことは良い機会になったと感じました。

リアルに会えないということが本当に一番残念なところでありましたが、自治体として、地域として、直前まで判断を迷うところがあり、担当の皆さんは非常に大変だったとお察しします。本当にご苦労様でした。

YouTubeやインターネット、オンライン授業もそうですが、これを機に様々なところで今後さらに進んでくると思います。また、今後、今までどおりの形で成人式が開催できるようになった場合にも、YouTubeやシルキーチャンネルで配信してあげることで、当日参加できない方が見ることが出来る機会を提供するという新たなヒントを得たと思いますので、ぜひ今後活かしていただきたいと思います。

草間職務代理者： 成人式は人生で一度しかない式だと思います。市が方針を出して、思い切って、こういう形でやると決めていただいたことは、子どもたちにとって、友達に会えなかったことは寂しかったかもしれませんが、一生に一度の良い区切りになったと思います。

また、シルキーチャンネルを見ている方が意外に多かったと思いました。成人の方ではないですが、私のお店に来た方から今日6時の番組を見たよと言ってくださる方がけっこうおりまして、岡谷市がどういう成人式をやっているか、市民の皆様に見ていただくには良い機会になったと思います。YouTubeについても、娘が東京に住んでいまして、YouTubeの動画を見て、友達にも動画のことを話したよと言っていたので、視聴回数が500回と報告がありましたが、もう1000回ぐらい見てもらえているものだと思っていました。

娘の岡谷出身の友達の間で情報が回っているということで、10年前にやった成人式が今このような形でやっているのを見ることが出来て良かったと話しておりまして、そういう点では、一つの新しい発見があって、素晴らしい成人式だったと思います。

岩本教育長： お褒めの言葉までいただいて、ありがとうございました。正直言いました、大変でした。毎日のように、担当者と打ち合わせを行っていました。ただ、成人式というとても晴やかな行事のことを考えるにあたり、私たちも前向きな気持ちで臨むことができ、計画を考えることが出来ました。担当課長と主幹の方は、4月に異動があり、とても大変だったと思います。前任者が作ってくれたものを上手に活かしながら、新たな視点で作り上げることが出来ました。

成人の皆さんのスピーチは本当に素晴らしく、こんなに頼もしいのかと感じ、本当にやってよかったと思いました。新成人の方が何百人もいますが、一人一人がこの節目に当たって、自分なりの決意や想いをしっかり持って、これからの人生を歩んで行ってくれると思います。本当にありがとうございました。

その他ということで、何かありますでしょうか。

それでは、次回の定例教育委員会の開催予定について、お願いします。

事務局（両角）： 次回の定例教育委員会は6月7日（月）、9時30分より、2階202会議室で行う予定になります。よろしくお願いします。

岩本教育長： それでは、公開の議事、報告はここまでとします。この後、非公開の議事に入りたいと思います。

○議 題 (非 公 開)

2. 学校評議員の承認について (教育総務課)

＜学校評議員の承認について事務局より説明し、承認される。＞

3. 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について (教育総務課)

＜岡谷市就学支援委員会の委員の承認について事務局より説明し、承認される。＞

4. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について (教育総務課)

＜岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について事務局より説明し、承認される。＞

5. 社会教育委員の委嘱について (生涯学習課)

＜社会教育委員の委嘱について事務局より説明し、承認される。＞

岩本教育長： 最後に事務局、委員さんの中でなにかあれば、お願いいたします。
 無いようでしたら、以上をもちまして、5月の定例教育委員会を終了と
 します。ありがとうございました。

10時50分終了

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和 3年 6月 7日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

小 平 陽 子

署 名 委 員

草 間 吉 幸

調 製 職 員

白 上 淳